

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグチームのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい、そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

「経験や実績より今の自分で勝負する」 経験を捨てることで、得たものは大きかった。

とにかくケガ人が多かった今季の湘南ベルマーレ。そのなかでただひとり、J1リーグ 34 試合すべてに出場した阿部吉朗選手。さらにシーズン9得点はチームトップであるとともにJ1リーグ戦での自己最多記録を更新。30歳を過ぎてもなお成長を続ける阿部選手の原動力はなにか。

—今季J1で戦うにあたっての意気込みとか心構えは、あったのでしょうか。

昇格して、というより反町監督がベルマーレの監督に就任したときに考えたんですよ。まず、今までの自分を全部捨ててゼロになり、これから取り組むトレーニングをすべて吸収しようということ。それから、ミスをしたリ怒られたときに人のせいにはしないこと。監督やコーチから注意されるとき、冷静に自分の行動を振り返るんです。自分が良いと思って選択したプレーでも人からみたら間違った判断だったかもしれない。周りのアドバイスにしっかり耳を傾け、次のプレーに生かす。それを繰り返すことで、自分の殻を破ることができたと、自分にはまだまだ伸びしろがあるということを確認できたと思います。

—阿部選手のように経験も実績もあるベテランが、自分をゼロにするというのは？

「経験」とか「プライド」って、ときには邪魔になるんです。すべての経験が良いとは限らないし、経験したから優れているというわけではない。人それぞれ経験の仕方なんて違うのだから、絶対的なものではないんです。大切なのはそこから何を学び、どう活かすか。常にそう思ってきたから、経験を切り捨てられたんです。

反町監督のように日本のトップを見てきた人に言われるのですから、素直に受け入れられます。それに、監督の言うことは迷いがなくて白黒がハッキリしている。そんな信頼できる人の指導だったから、自分の判断の悪さや、自分の足りない部分を認めてさらに努力することができたと思います。

残念ながらチームの成績は低迷し、降格してしまった



けれど、個人的には成長できたことで、少しは監督のしてくれたことに応えられたかな、と思っていますが…。

—ベルマーレがJ1に残留するために足りなかったものは何だと思えますか。

技術的なことをいったらきりがありません。僕が一番感じたことは『相手をリスペクトしすぎるな』ということ。やるか、やられるかのプロの世界、相手に嫌がられてもしつこく、激しくボールを奪いにいかなければいけないんです。たとえ相手が日本代表だろうとなんだらうと、遠慮したり恐れているのはダメ。そういう気持ちの部分もあったと思います。

—今季の終盤には、昇格に大きく貢献したジャン選手や田村雄三選手の引退の発表もありました。

そうですね。ジャンはFC東京時代からのチームメイトなので一緒にいる時間は長かった。だから、なかなか引退したという実感がわかず、明日も練習に行ったらいるんじゃないかと思ってしまいます。FC東京の頃はみんなから恐れられていましたよ。チーム内でもけんか腰でプレーしていて、誰もジャンに近寄らない(笑) それでサッカーを離れると人が変わったように優しくなるんです。でも湘南で再会したときには、ずいぶん性格が丸くなっていて驚いたなあ。

雄三は、年下だけれど選手会長もやってくれて、とてもしっかりしている。チームをまとめるための幹事役を率先して引き受けてくれたから、ずいぶん助かりました。プレーでも身体を張って闘う姿が、若手の選手のお手本でした。

引退とか戦力外通告ってマイナスのイメージがあるけれど、僕はちょっと違うんです。プロスポーツ選手でいる限り、早かれ遅かれ、いつかは辞めなければならない。そのときに自分がプロになれたこと、その日まで頑張ってきたことを胸を張って誇りに思っているし、讃えられていいと思うんです。いつ自分にその日が来ても「ここまでやれて良かった」と思えるように日々過ごしていきたいです。もちろん若い選手であれば、若いからこそ違うチームや違う環境にチャレンジする可能性だってあるわけですから、落ち込むことはないんです。

—このシーズンオフはどのように過ごしますか。

阿部吉朗



FW 11

まずゆっくり身体を休め、また徐々に筋トレやジョギングを始めます。オフのときは練習場ではなく、違った環境でトレーニングをするのが好きなんです。気持ちの切り替えもできるし、好きな場所で自分がやりたくてやっている自主トレだから前向きにポジティブにできる。実家のある筑波に帰って砂浜を走ったり、大学時代の仲間と紅白戦をしたり。嫁の実家の近くの砧公園(世田谷区)も施設が充実しているのでよく使います。昨シーズンのオフのとき、砧公園でジョギングしていたらすごい金髪の人が走ってるんです。大黒(将志選手)でした。一緒に走りましたよ。そういうのもオフならではのですね。

—来シーズンに向けて一言。

今季は9得点でしたが、もっと得点できる可能性があったし、これからも成長できると確認できたシーズンでした。来季も、もっと上を目指し、自分を伸ばしていきます。応援、よろしくお願いします。

(インタビューは12月8日に実施)

2011シーズンも 湘南ベルマーレに 熱い声援を!



Bellmare

2011シーズン『ベルマーレ12』入会のご案内

「ベルマーレ12」とは、湘南ベルマーレに興味を持ち始めた方から、毎試合熱く声援を送りたいという方まで、すべての方に楽しんでいただける会員システムです。興味を持ちはじめた方向けの無料会員、応援する方に様々な特典を用意したブルー会員、観戦すればするほどお得なシーズンチケットや特典が充実の(メイン/バック)ゴールド・プレミア・スーパープレミア会員の中から、あなたの応援スタイルに合わせてお選びください。また、シーズン中のグレードアップもOK!! 上層会員になればなるほどお得です。あなたもベルマーレの「12番目の選手」になりませんか? ※詳細は湘南ベルマーレ公式サイトをご覧ください。お気軽にお問合せください。

サポートコーポレーションのご案内

湘南ベルマーレでは地域の法人・自治体・団体・組合、または個人の方を対象にベルマーレをサポートしていただける皆さんを募集しています。申込み月から1年間有効です。地域貢献活動として、福利厚生や企業PRとして活用ください。詳細は、湘南ベルマーレまでお問合せください。

メンバー名	協賛金額(税別)
トリプルスター	200,000円
ダブルスター	100,000円
シングルスター	30,000円

特典 / 競技場入場ゲートへの社名等掲出、ベルマーレ公式サイトへの社名等掲出、指定席観戦チケットプレゼント、公式ハンドブック進呈など
※1月20日までにお申込みの方は2011公式ハンドブックに社名等掲出